

# ぬまづ憲法9条の会

166号  
2019年12月1日  
事務局  
神田健夫  
921-7755

## 安倍首相は予算委員会に出席し説明をすべき

安倍首相主催の「桜を見る会」疑惑が、安倍首相を直撃している。

ふくれあがる招待者、予算枠など無視した公費執行、政府行事「桜を見る会」と一体になった首相後援会活動・「桜を見る会前夜祭」、ホテルニューオオタニとの癒着（5000円会費、首相主催の新天地祝賀宴会1億7千万円）、公職選挙法・政治資金規正法違反など、きりが無い。

挙句に、詐欺商法ジャパソライフ元会長を招待して広告塔となり、昭恵夫人招待枠は140人に及ぶと報じられる。

「殿、御乱行」を描く、映画・テレビの時代劇も顔負けするほど、奇奇怪怪だ。

### 奇奇怪怪

だが、安倍首相は、真相を語ろうとしない。内閣府は招待者名簿を廃棄した。米紙ワシントン・ポストは、「1回に1000ページの文書が廃棄できる大型シュレッダーが日本のトップニュースになっている」と皮肉っている。菅官房長官は「廃棄した。資料がない」と繰り返す。テレビ”芸人”田崎史郎（元時事通信論説委員長）氏などは安倍首相の言動の弁解にこれ努める。

「悪事に反対しても仕方がない」と諦めムードも広がる。

しかし、安倍首相は、国会の予算委員会に出席し、桜を見る会の前後について説明しなければならぬ。日本を道義はてる国にしてはいけぬ。日本の首相として、子どもたちへの、日本の社会・政治への責務を果たさなければならぬ。

## 改憲20年こそ山場

安倍・自民党は内閣改造を機に、党挙げての改憲態勢を整えたが、桜を見る会疑惑が安倍・自民党を直撃している。

それもあり、自民党は、審議日程の確保が難しいと、改憲手続法（国民投票法）の今国会での成立を見送ることにしたと報じられている。

九条マガジン編集後記は、「2021年9月までの自らの任期までの改憲を目指す安倍首相の改憲構想は、ますますタイトに（厳しく、きつく）なってきた」と記し、2020年こそ改憲反対運動の山場だと呼びかけている。

## 14周年の集い 満員の200名参加で

11月3日の集いは、200名満席で開催。予想を超えた申込みがあり、施設の定員の関係でお断りした方には申し訳ありませんでした。

池田敏美さんのヴァイオリン演奏には「誠実な人柄が伝わり、お話とともに、無伴奏の曲演奏もとても良かった」などの声が寄せられました。

## 道徳教育のおかしさと 恐ろしさを感じた

期待の前川喜平さんの講演。「テンポ良く分りやすいお話でした。安倍政権下で教育改悪が、憲法改正の下地として次々になされてきたことが良く分りました。道徳教育のおかしさと恐ろしさを感じました」

「教育行政に長年携わってきた方なので法律的な話を

誰にでも理解できるレベルに落とし込んで分かりやすかったです」などの感想が寄せられました。



### 集会・パレード

9条を変えさせない

日時・12月21日（土）

会場・沼津中央公園

集会・13時30分小雨決行

パレード・14時 雨天中止

### スタンディング

改憲を断念させよう

12月7日、14日（土曜）

時間・14時～14時45分

場所・沼津駅南口井上靖碑前

主催・戦争させない

憲法壊すな沼津の会

### 株価とマスコミへの対策

安倍長期政権を支える柱が2本あるという。一つは株価維持。株価が低落すると、日銀が株購入に走り、年金原資を株購入に充てる。この株価対策が下支えする。

もう一つは、マスコミ対策。11月8日の「桜を見る会」質問以降の首相の夜の行動(会食)を追ってみよう。15日、フジ・サンケイグループ代表と「和田倉」で、18日、読売新聞幹部と日本料理店で、20日、内閣記者会各社キヤップと中国料理店で、21日、桜井よし子、百田尚樹ら「言論人」とフランス料理店で、盃を重ねる。

内閣支持率は読売、産経調査で6、7%下がったものの、今も支持率は50%前後である。だが、共同通信調査によれば、桜を見る会を巡る首相発言を「信頼できない」が69、2%に及ぶ。

「安倍首相は、桜を見る

会について予算委員会に出席し説明を」は世論なのだ。

### 国会も安倍首相の野次が

国会でも安倍首相のヤジはひどい。11月6日、立憲民主の今井議員を指さして「あんたがつくったのでは」と野次を飛ばし、8日にも立憲民主の杉尾議員を指さして「共産党!」と野次を飛ばした。

余りにもえげつない、ネトウヨ的な野次である。毎日新聞記事によると安倍首相の野次は今年だけでも26回に及ぶ。

行政府の長による立法府の議員への野次は。主権者への野次、攻撃である。

ところで、石原慎太郎氏は都知事時代に議場でしばしば野次を飛ばした。橋下徹氏は府知事時代に記者会見などでよく野次を飛ばしていた。安倍氏は二人から学んでいるのだろう。三人は憲法を罵る点でも共通する。

### 権利を求め頑張る人たちが

朝日新聞10月12日号静岡版が報じた。東海地方を中心にシェアオフィスを展開する「エニシア」が沼津駅前開設した沼津店を9月末に閉鎖した。オープンからわずか半年。沼津市から企業家支援事業を受託していたが、年度途中で放棄する事態になった。

従業員らが結成したプロレカリアートユニオン静岡支部エニシア分会が未払い賃金の支給、雇用の保証を要求し、9月下旬団体交渉を求めたが、開催3、4分前に「開催できない」と弁護士から通告があった。

その後、11月下旬に解決寸前まで来ていたが、突然社長が雲隠れした。

12月には解決を求めて、名古屋の本社前で街頭宣伝に取り組みうとしていた。労働組合もその闘いも厳しい。だが、コツコツと頑張る人たちがいるのだ。

### イロイロ

◇英語辞書出版社が今年言葉に「気候ストライキ」を選んだ。気候行動サミットで安倍首相は石炭火力推進が支障になり、演説を断られた。

◇千葉幕張メッセで国際的な武器見本市・DSEIが初めて開かれた。「死の商人日本にいらぬ」と市民410人が抗議した。

◇沖縄・普天間基地近くの保育園に米軍ヘリ部品落下事故から2年、「お空を飛ぶのは鳥さんだけがいいな」

◇大学入試の民間英語試験の導入、高校生が「声をあげてきたことが初めて実った経験をした」と述べる。高校生が政治を動かした。

◇天皇即位に伴う大嘗祭は宗教儀式。政府が公的性格を認め、公費支出、公務

員関与をすることは憲法違反。しかも、一夜のために20億円もかけて作った建物は、儀式後に解体、撤去される。何という浪費か。

◇ローマ教皇、「核戦争の脅威による威嚇をちらつかせながら、どうして平和を提案できるだろうか。核兵器禁止条約など国際的な法的原則にのっとり、たゆむことなく、迅速に行動し、訴える」と語る。核戦争の威嚇をちらつかせ、核兵器禁止条約を敵視する安倍首相と真逆である。

◇日韓弁護士などが11月11日に「被害者と日本企業との間で徴用工などの問題解決のための協議の場が設けられ、日韓両国政府がそれを尊重する姿勢をとることこそ、日韓関係改善に向けた第一歩になる」を核とする声明を発表した。

◇香港区議選、民主派が議席8割超を獲得し圧勝した。